

令和5年度 東京都女性活躍推進大賞 受賞者

大賞

	受賞者 正社員数(うち女性)又は活動地域	取組概要・効果
事業者部門	佐藤興業(株) <建設業(塗装業界)> 84人(24人)	○トップの方針の下、 女性職人及び施工管理希望者を積極採用 (女性職人 2015年:0%→2023年:23.6%) ○全国建築塗装技能競技大会東京地区予選に 女性職人2名が初めて出場し、1・2位で通過 ○ 工業高校へ「出前授業」を実施し、ものづくりの楽しさや建設業界における女性活躍をPR
	(株)サニーサイドアップグループ <PRコミュニケーション、マーケティング> 338人(211人)	○女性のウェルネス支援のため、 日本企業で初めて「卵子凍結の費用補助」を導入。「AMH検査・精液検査の費用補助」も実施 ○「失恋休暇」「目指せA身体制度※」など、 ユニークな福利厚生制度「32の制度」を整備 ※健康診断で総合A判定者にボーナス贈呈 ○心身的・社会的課題の両面から女性活躍をデザインするプロジェクトとして 働く女性や企業向けに無料オンラインセミナー を開催
地域部門	まえさわ小町商店会 <女性三人組ユニット「こまちーズ」を中心とした商店街のPR事業> 東久留米市	○ 女性三人組ユニット「こまちーズ」が中心となり 、ガイドブックとしても使える記念冊子の制作や各店舗の店主等をキャラクター化したカードラリー企画など、商店街PR活動を幅広く展開 ○女性の視点を取り入れた企画により、 商店会のイメージアップにつながり、若者や女性客の取り込みや商店会の活性化に大きく貢献 ○ 若手会員が役員(世話人)に就任し、多様な意見が反映される役員構成 (こ(2019年:男性8名、女性0名【平均年齢:約70歳】→2023年:男性7名、女性4名【平均年齢:約50歳】))
	一般社団法人ドゥーラ協会 <産後ドゥーラの養成と活用促進> 千代田区	○母親として独り立ちできることを目指しながら、授乳や新生児のお世話、料理や洗濯など、産後ドゥーラが 産後家庭に必要なサポートをすべて実施 (都内14区、4市で公的な産前産後サポート事業として活用) ○産後女性にニーズの高いサポート事業は、「 女性活躍 」の土台を築くとともに、 少子化対策にも貢献 ○ 10年以上に渡り産後ドゥーラの養成に取り組み 、多くの女性が産後ドゥーラとして活躍できる 雇用の場を創出 (全国で約800名、うち約300名が都内で活躍)

優秀賞

	受賞者 正社員数 (うち女性)又は活動地域	取組概要・効果
事業者部門	PwCコンサルティング合同会社 <総合コンサルサービス> 4,421人 (1,281人)	○社員が自主的に女性ネットワーキングを立ち上げ、全社の公式活動に発展。キャリアや生活に関する情報共有や悩み解決のための「CHAT」の開設や、仕事と家庭の両立など女性のキャリアに関するイベントを開催 ○未来の女性STEMリーダーを育成することを目的に、 女子中高生を対象にした教育プログラム を提供
	パーソルキャリア(株) <人材サービス> 5,607人 (3,143人)	○育業中の不安を解消しスムーズな復帰を支援するため、一時的な就労機会を提供する「育休ウェルカムバック制度」や、時短勤務等を体験する「管理職育児体験研修」などの取組を展開 ○ 女性のヘルスリテラシー向上 に向け、セミナーやイベント開催のほか、調査を実施し課題等について有識者の提言とあわせて公表
地域部門	特定非営利活動法人子育てママ応援塾ほっこりの <子育てサロン運営等> 北区	○「子育て」が「孤育て」にならないよう、気軽に立ち寄れるママの居場所づくりとして 子育て共助拠点(子育てサロン)を運営 し、交流、座談会やイベントなどを開催 ○拠点運営のノウハウをカリキュラム化した支援者向けスクールを開講 ○看護学科・保育学科の 学生インターンシップを積極的に受入れ (約160名/年)

特別賞

※特別賞…他の団体等への好事例となる点が見受けられ、かつ今後一層の成果が期待される取組を行う団体(又は個人)に贈呈

	受賞者 正社員数 (うち女性)又は活動地域	取組概要・効果
事業者部門	日本物産(株) <セールスプロモーショングッズの企画・製造・販売等> 102人 (69人)	○社長のトップダウンの下、 ライン課長の創設(半数を女性登用)、評価制度の改定など人事制度改革 に加え、 社員の意識改革を実施(女性管理職比率 2020年:25.7%→2023年:40.0%) ○ボトムアップの提言により、 若手社員活性化 のための「若手リーダー育成研修」や「女性活躍推進WG」の活動を実施
地域部門	特定非営利活動法人フローレンス <多胎児家庭のみを対象とした、日本唯一のベビーシッターサービス> 千代田区	○多胎児育児の悩みや負担軽減を目的に、 多胎児家庭専用の訪問サポートサービス「フローレンスのふたご助っ人くじ」 を運営し、当日朝までサービスを受けられる機会を提供。「共同保育」により、子供だけでなく親もサポート(2020年トライアル開始以来、4,000件弱のサポート) ○忙しい多胎児家庭の 利用のハードルを大きく下げるため 、煩雑な手続きを一切カットし、登録・利用・支払いまで「LINE」で完結